

中村研究室（循環経済・廃棄物資源循環学）

教員名：中村修

● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

中村研究室は、福岡県大木町で15年間にわたり「循環のまちづくり」に関わってきました。こうした取組が高く評価され、福岡県みやま市での2018年度稼働予定の循環施設の構想、および地域全体での「地域循環圏構想」を市に提案するだけでなく、実際に地域のなかにつくりあげていくために、ゼミ生とともに現場で行動しています。

「メタン発酵発電 事業化を」

みやま再生可能エネルギー調査委員



西原市長（右）に報告書を提出する中村委員長

みやま市の「再生可能エネルギー」導入可能性調査委員会（委員長＝中村修・長崎大環境科学部准教授）は8日、「市として生ごみ・し尿を利用したメタン発酵発電事業に取り組みべきだ」とする調査報告書を、西原親市長に提出した。

同委員会は、学識経験者や住民代表ら9人で構成し、昨年8月に発足。メタン発酵発電のほか、太陽光、風力、小水力発電を、市が手がけた場合の課題や費用対効果を検討してきた。報告書では、メタン発酵発電について、2006年度から実用化させている大木町の事例や、ごみ処理コスト削減への効果が見込める利点を挙げ、市が事業化した場合の効果が最も大きいとした。

一方、太陽光は民間事業者の進出、風力は高額な整備費、小水力は市内に適地がないことを理由に、事業化のメリットが少なく指摘した。

中村委員長から報告書を受け取った西原市長は「詳細を検討し、全庁的に取り組んでいきたい」と語った。

2013/03/09 読売新聞 生ごみ・し尿をメタン発酵させて発電をし、肥料は農地で利用する。都市の事業系生ごみを受け入れて、農産物を事業者に販売する「食品リサイクルループ」にもとりくみます。

● 先輩はどんなところに就職しているの？

半数は公務員、残りの半数は民間です。

環境コンサルタントをはじめ、デザイン会社、生活協同組合、森林組合など多岐にわたっています。